

1 活動名 「周防小にアサギマダラを乱舞させよう」

2 ねらい

- チョウの生態と自然環境との関わりについて学習することを通して、周防地区の豊かな自然を守り育てようとする地域の方々の思いを知り、地域の一員として自分たちにできることを考える。
- 地域の方と一緒に作業や交流学习を行うことを通して、ふるさと周防のよさを理解するとともに、周防を愛し誇りに思う心情を育む。

3 活動の概要

- 4月 シニアクラブによるフジバカマの挿し木と育苗開始
- 5月 シニアクラブによるフジバカマ花壇の整備
- 6月 フジバカマの苗木を3年児童がシニアクラブ会員とともに花壇に植え付け
※以後、3年生とシニアクラブで毎日散水して花壇管理をする。
3年生は理科や総合的な学習の時間等でアサギマダラの生態について調べる。
- 9月 下旬からフジバカマの開花
- 10月 24日(月)にアサギマダラの飛来を始めて確認した。中庭や教室から、優雅に舞うその姿を楽しんだ。
- 12月 シニアクラブによるフジバカマ花壇の整備

4 活動の内容

(1) フジバカマを植えるまでの準備

秋に飛んでくるアサギマダラを学校でも観察できるよう、平成28年から、中庭の花壇にフジバカマを植えている。

平成3年4月、周防大島町から穂木をいただき、その苗がたくさんの花を咲かせた。そして、この4月、3年生児童がシニアクラブの方々に教わりながら、このフジバカマから挿し穂つくった。発根するまでは、シニアクラブで大切に育ててくださった。

5月には、土作りなどフジバカマ花壇の整備をおこなわれた。



【フジバカマの挿し穂づくり】

(2) フジバカマの定植とその後の管理

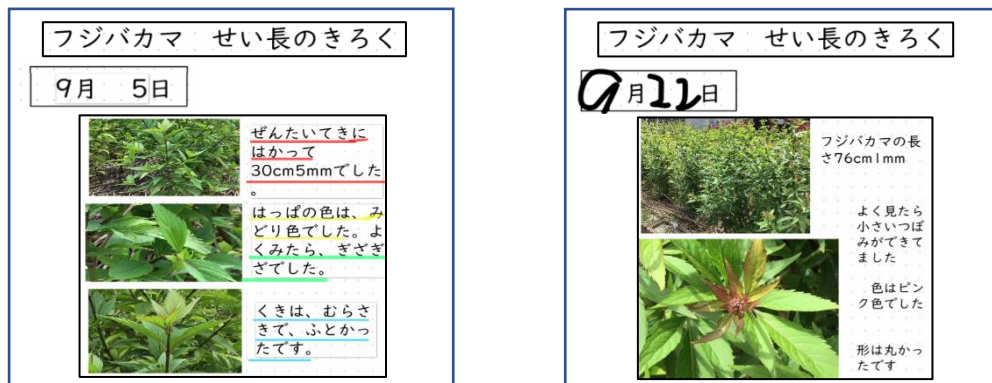
6月には、シニアクラブの方々に教わりながら、3年生児童がフジバカマを花壇に定植した。その日から、毎朝、3年生児童が花壇に水やりをした。土日や夏休みは、シニアクラブの方々が、花壇の管理を行ってくださった。



【フジバカマの定植】

(3) 子どもたちの調べ学習

3年生児童が総合的な学習の時間に、フジバカマの生長の様子を観察しタブレット型PCを活用して記録していった。また、理科ではアサギマダラの生態についての調べ学習をおこなった。立ち寄られたシニアクラブの方々に、観察したり調べたりして分かったことをうれしそうに伝える子どもたちの姿も見られた。



【フジバカマの生長の記録】

(4) 旅するチョウ「アサギマダラ」の飛来

地域の方々と一緒に世話を続けてきたおかげで、フジバカマは大きく成長し、花を咲かせ始めた。10月下旬頃には見頃を迎え、それにあわせてアサギマダラが飛来するようになった。子どもたちや地域の方々は、今年度の地域活性化事業助成金で購入したガーデンパラソルや、一昨年度購入した屋外用縁台のおかげで、優雅に飛ぶアサギマダラの姿をゆっくりと鑑賞することができた。



【アサギマダラの観察】

5 成果と今後の課題

今年度もコロナ禍ではあったが、感染対策をとりながら、地域の方との活動を再開した。おかげで校地内を、様々な小さな命にふれることができる素晴らしい学習環境に整えることができた。チョウだけでなく、学級園の花や植物、野菜、池のコイの世話は、たくさんの学校応援団の方々に支えられている。これからも地域の方々と一緒に活動しながら、温かな人情と豊かな自然に囲まれた「ふるさと周防」を愛し、誇りに思う児童の育成に努めてきたい。